

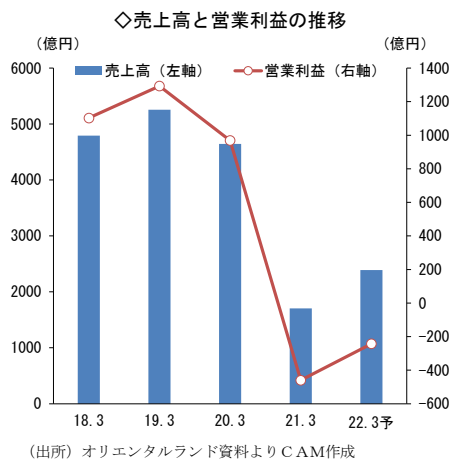
企業ニュース オリエンタルランド

(東証1部: 4661) <http://www.olc.co.jp/>

作成者: 高見澤晶子

入園者1人当たり売上高を重視した経営にシフト

テーマパークを中心とした複合リゾートの「東京ディズニーリゾート」を運営している。21.3期の売上高構成比は、テーマパーク79%、ホテル17%、その他4%。従来は入園者数の増加策に力を入れてきたが、コロナ禍を契機に入園者1人当たりの売上高を重視する経営へと変化している。2021年3月にチケットの変動価格制を導入。10月からは平日・祝日、イベントシーズンなどを踏まえ、日によって7,900円、8,400円、8,900円、9,400円の4段階の価格設定とした。また、通常の開園時間より1時間早く入園できる有料のアーリーエントリーチケットも導入した。現在はアトラクション乗車優先券のファストパスの有料化など、顧客の体験を新たな収益源とすることを検討している。



入園者数の上限引き上げペースは想定より早い

22.3期・第2四半期累計(4-9月)の連結業績は、売上高が976億円、前年同期比65%増、営業利益が194億円の赤字、同48億円増(前年同期は242億円の赤字)。前年同期は臨時休園した期間があるため入園者数は同45%増の390万人となったが、新型コロナの感染再拡大でテーマパークの運営時間短縮や入園者数制限を行うなど厳しい事業環境が続いた。入園者1人当たり売上高は14,877円、同13%増。チケット収入が増加したほか、商品や飲食の販売収入も増加した。

22.3期の通期会社計画は、売上高が2,390億円、前期比40%増、営業利益が243億円の赤字、同217億円増(前期は460億円の赤字)。下期の入園者数は660万人、前年同期比35%増を見込む。11月末まで2つのテーマパークの入園者数の上限をそれぞれ1日当たり1万人とし、12月から段階的に上限を引き上げていくことを前提としていたが、足元は想定より早いペースで制限を緩和できており、入園者数の上振れが期待できよう。入園者1人当たり売上高は13,809円、前期比1%減を想定。商品・飲食販売収入が減少するものの、チケット収入は下期に高価格帯チケットの構成比が高まることで増収傾向が維持されるとみられる。

[株価動向・投資判断]

チケットを含めた価格戦略の進展により、中長期での収益成長が期待できよう。

<4661 OLC 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.3	464,450 (▲12)	96,862 (▲25)	98,062 (▲24)	62,217 (▲31)	189.2	44.00
21.3	170,581 (▲63)	▲45,989 (—)	▲49,205 (—)	▲54,190 (—)	▲165.5	26.00
22.3 予	239,020 (40)	▲24,260 (—)	▲22,850 (—)	▲17,550 (—)	▲53.6	26.00



株価 (2021/10/29)	17,940 円
年初来高値 (高値日)	18,745 円 (21/10/4)
同 安値 (安値日)	14,600 円 (21/5/13)
予想 P E R (22.3 予)	— 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	2,269.8 円
P B R	7.90 倍
予想配当利回り	0.14 %
(1株当たり配当金年26.00円)	
R O E (21.3)	▲ 6.9 %
発行済み株式数	36,369 万株